

入浴施設のレジオネラ症防止対策

— 徹底した衛生管理で防ぐことができます —

入浴施設の衛生管理のポイントは？

入浴施設を安心して利用できるよう、主に次の点に注意して衛生管理を徹底しましょう。

重点項目		実施内容
1	浴槽水の完全換水 (浴槽の湯をすべて新たな湯に入れ替えること)	<ul style="list-style-type: none">• 原則、毎日• ろ過器を設置している場合、1週間に1回以上• 気泡発生装置を設置している場合、連日使用している浴槽水を使用しないようにすること。• 打たせ湯は循環している湯水を使用しないようにすること。
2	浴槽の清掃、消毒	<ul style="list-style-type: none">• ろ過器を設置していない場合、毎日清掃、月1回以上消毒すること。• ろ過器を設置している場合、換水時に清掃、週1回以上消毒すること。
3	循環ろ過装置（配管も含む）の消毒	<ul style="list-style-type: none">• ろ過器を1週間に1回以上十分洗浄し、ろ過器を含めた循環配管を1週間に1回以上消毒すること。• 年1回程度、循環配管の生物膜を除去すること。
4	浴槽水の遊離残留塩素濃度の保持、測定	<ul style="list-style-type: none">• 浴槽水には、塩素を注入すること。• 浴槽水中の遊離残留塩素は、0.4～1.0ミリグラム/リットルに保つこと（R2.4.1～）。• 遊離残留塩素濃度は、定期的に測定すること。
5	水質検査（レジオネラ属菌及び大腸菌(群)）の実施	<ul style="list-style-type: none">• 水質検査は営業者等が自主的に行うこと。• 原則、年1回以上• 連日使用している浴槽水は、6か月に1回以上
6	衛生管理に関する記録の作成、保管	<ul style="list-style-type: none">• 上記の重点項目について、管理計画を作成し、実施した記録を作成すること。• 遊離残留塩素濃度の測定記録、水質検査の成績書を3年間保管すること。

※ 「旅館業法施行条例・細則」、「公衆浴場法施行条例・細則」を改正し、令和2年4月1日から施行されます。浴槽水中の遊離残留塩素濃度以外の改正内容は次のとおりですので留意してください。

- ① 集毛器を毎日清掃、消毒すること。
- ② オーバーフロー水及びオーバーフロー回収槽の湯水を浴用に供しないこと。ただし、これにより難しい場合は、オーバーフロー還水管及び回収槽の清掃、消毒を定期的に行い、回収槽の湯水を塩素系薬剤等により消毒すること。
- ③ 貯湯槽、配管等は、清掃が容易にでき、完全に排水ができるなど、生物膜の発生の防止及びその除去ができる構造とするように努めること。
- ④ 原水等の水質検査の項目を「大腸菌群」から「大腸菌」としたこと。

レジオネラ属菌が検出された場合には？

- ① 管轄の保健所または市町に連絡し、レジオネラ属菌が検出された浴槽の使用をすみやかに中止すること。
- ② 浴槽やろ過装置などの清掃、消毒を行うこと。（必要に応じて、ろ過装置のろ材の交換なども）
- ③ 浴槽の清掃、消毒後に、レジオネラ属菌の自主検査を行い、不検出（陰性）であることを確認すること。

入浴者への注意点は？

入浴者に対しては、次の事項について、注意書きなどで汚染防止のために呼びかけましょう。

- ① 体をしっかり洗ってから入浴すること。
- ② 露天風呂では、体を洗わないこと。

レジオネラ症とは？

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で感染する病気です。

- ① レジオネラ症は、「レジオネラ肺炎」と「ポンティアック熱」の2つに分けられます。
- ② レジオネラ肺炎は、健康な人でもかかりますが、糖尿病患者、乳幼児及び高齢者など抵抗力が低下している人はかかりやすい傾向にあります。
- ③ レジオネラ属菌に汚染された浴槽水のエアロソル（目に見えない細かい水滴）を吸ったことにより感染した事例が多く報告されています。

レ ジ オ ネ ラ 症	
<p>レジオネラ肺炎</p> <p>○主な症状 高熱、悪寒、筋肉痛、呼吸困難 全身倦怠感、下痢、意識障害</p> <p>○特徴 急激に重症になり、死亡する場合もある。</p>	<p>ポンティアック熱</p> <p>○主な症状 発熱、寒気、筋肉痛 （インフルエンザに似た症状で、肺炎にならない）</p> <p>○特徴 一般に軽症で、数日で治ることが多い。</p>

レジオネラ属菌とは？

レジオネラ属菌は、土壌や河川、湖沼（淡水）などの自然環境に生息しています。一般にその菌数は少ないと考えられます。

お風呂の湯など20℃以上の人工環境で、アメーバなどの原生動物に寄生し、増殖することができます。

増殖に適した温度は36℃前後で、入浴施設の浴槽水やシャワー水の温度に近いです。